文化会館の大きさも考えますが、いつも満杯とは限らないので、自分の好きで、松本文化会館等へ行けば良い・・・。しかしある程度、夜間の外出等は考えてしまう。

合併特例債とは、市の中心部に箱物を造るためにあるのでしょうか。市街地から外れた場所に住んでいると、合併の恩恵を感じることは少なく、何の整備もされないまま税金だけがのしかかってきます。

選挙の際、有力な事業主や地権者の力添えがあるため、議員はその声=市民の声ととらえていますが、 一般市民には癒着としか思えません。

今回の資料にも様々な数字が記されていましたが、理想値であり、参考にはなりませんでした。

田舎のこのような市政に民意を反映させるには、今回の住民投票は的確であったと思います。

問2についてもう少し記すと、説明会の時は賛否無しで臨んだが・・・。いろいろな知識はありました。例えば、建築賛成の署名で50万集めたとか? 10万都市なのに。

説明会で一業者の発言であるが、年に1,000人以上の公演を160回やっているという言葉を聞いて、これは業者の利益のために造るべきではないと思い、反対しました。友達その他にも、口コミの運動をしました。

住民投票=民意ではない、と考えています。

市の行政については選挙で、市長・市会議員に任せているはず。わざわざ経費・時間をかけて、ただ一つのことを住民投票にかけることは無駄である。市長だけの考えによる行いであるなら、市長のポケットマネーでやるべき。今回の住民投票の件も「責任逃れ」以外の何でもなく、市長の今後への「売名行為」そのものだと思います。

この調査についても、市長は確か中央大学卒業のはず。何か関連があるように思えてならないのですが。(注:この調査は純粋に学術目的で行っており、市長の意向とは一切関係なく実施しております。)

総合文化会館の建設の前に、幅広く文化という概念を深く考える必要があると思います。文化はいつも完全にいいものなのか。人間の主観性を縛ってきたものでもないでしょうか。制度をまたつくるよりも、このような問題を共有することが大事だと思います。

住民投票ではなく、もっとお金のかからない方法でやるべきではないでしょうか。そして全員から聞くべきです。この問題は、反対の人は絶対に投票に行くと思いますが、賛成の人はどうしても行こうと思わないということが多いので、本当に反対が多いか分からないと思います。もう少しきちんと対応したほうがいいと思います。

この問題には、はなっから反対でした。佐久市の政権が代わり、本当にうれしく思います。「住民投票」という市民の声が届けられるチャンスが与えられたのですから。政治・経済は全くわからないのですが、今、この現状でそんな建物はいらないのです。

昨日、住民投票が終わり「反対」の結果になりました。投票率54%で成立したこともうれしいです。こんな 意見が今後、何かの役に立つことを願っています。

- ・10万都市に大きなホールがあっても良いと思う。東信地区には無いので。
- ・前市長の時に建設の方向だったのに(試算等にお金を使った)やめてしまったら、かけた費用がムダである。市長が代わったら、決まっていたものが止めになるのはおかしいと思う。長野県では、浅川ダムの建設のように億の金をムダにしている。国ではハッ場ダム。民主党のパフォーマンスで、税金をムダにされた。
- すでにある同じような建物を使わず、そのうえ建てることはない。
- 望月は佐久市になり、ますます活気がなくなり、過疎地になってしまった。
- 働く会社もほとんどありません。
- ・会議など遠くまで行くことになり、とても不便。時間の無駄です。
- ・佐久市に合併しないほうがよかった。何かにつけて、疎外されている。

国の借金がこれだけある中、自分さえよければ良い、使わなければもったいないでは、とても無責任だと思う。

今回の問題で、佐久市がリーダーになって、地方から日本を変えるぐらいのことをしても良いのでは? 国からの予算を空から降ってくるような考えをみんながしているから、国や地方の借金がこれだけ増えた のだと思う。

将来の子供たちにツケを回さないようにするのも、大人の責任であると考える。民間企業には収支計画などかなり厳しく求める役所の人達は、自分たちの計画はとても甘い計画なので、やっていけない事業が 多いと思う。 昭和22年からの人々が多い中、文化センターより老人ホーム他、やることが多数あると思います。年間経費が3億以上かかる文化センターを造ることはない。

文化会館があれば便利とは思うが、利用が見込まれないうえ、維持費が多額である。合併特例債、住民 投票費用などは、維持費を毎年支払うことを思えば安いものだと思う。

議会で決まったことでも、住民投票という方法で市民の意見が表せるのはいいことだと思います。借金はなるべくしないほうが良いと思います。入れ物だけ作っても、ほとんど空いていて使わなければ無駄だと思います。

柳田市長の考え、方針について:

彼が今後、佐久市をどういう市に育てていくのか全く分からない。話がうまいが中身が無い。今回の市民会館建設は、当佐久地方にとっては長年の悲願であった。県内ではいつも当地方は、文化果つる地域と 馬鹿にされ続けてきた経緯がある。

一流の人間、幅広い奥深い人間性を育むには、絶対に一流の文化に触れなければならない。そのためには、一流の施設が絶対に必要。

文化・教育には、損得勘定抜きで資金を投下する必要がある。これからの地域、日本を背負っていく子供、青年に一流の文化に触れさせたい!!

箱物を造ることは、今後は必要ない。(道路も含め)

7割の国の負担も、市民の税金です。これからは新しく造ることよりも、修理・保全等にお金を使うべき。市の職員数も減らすべき。(多すぎ)

すでに建設に向けて動き出してしまっていた。文化会館建設に対し、このような形で中止にすることができたのは、自分たちが市政に参加し、動かすことができたという実感を与えてくれました。住民投票の結果を大事にしていってほしいと思っています。

本人も病気、父も病気、結婚した時から介護生活の連続で、子供も育てる家庭ではない家庭生活を送ってきましたので、社会へ目を向けることなく、一日を送ることで精いっぱいです。よくアンケートを送られてきますが、協力できません。はっきり言って迷惑です。ゆっくり自分を見つめるときがないので、申し訳ございません。

今回のこの調査が今後の地方政治、国家政治にどう影響するのかはわかりませんが。。。

少なくとも、今の日本ではだれが首相になったとしてもたたかれ、支持率は満足のいく数字になりません。ホントに、「頭の悪い能無し政治家」ばかりで、この国の行く末が不安です。。。

結局、自己のことしか考えず、ただの給料ドロボーにならないようにしてほしいものです。それは、今回の佐久市の総合文化会館のことについても同じような気もします。文化や芸術を観たければ今あるものを使い、それでも足りない人は他県等へ個人的に観に行けば良いのでは?? 何もこのようなものにムダ使いするより、もっと子供や高齢者のために有意義なお金の使い方をするべきだと私は思います。

- ・政治的なことはよく分かりませんが、文化会館建設予定地を小学校建設に回したらどうかなと思う。
- ・今回の住民投票は、佐久市民としての自覚をし、佐久市を身近に感じられた選挙でした。

勤労者福祉センターの使用料も高いと聞いたことがあります。勉強会で月2~3回利用しますが、せまいです。畳の部屋も広いのが必要。増築できないか? 費用も安く済むと思う。

少子化の現在を考えると、必要になってから文化会館を造れば良いと思う。場所的には駅に近いので便利と思う。東京からの通行も良いので、先生もお呼びできるなど好条件の地。

勤労者福祉センターは「県」で文化会館は「市」と聞きますが、行政ってわかりません。中途半端な建物ばかりも困ります。

私はコーラスグループに入っていて、定期演奏会はコスモホールを使います。その他、市民コーラス祭り、母親コーラス祭りもコスモホールですが、800席が満たされたことはありません。佐久市には数多くのコーラスグループがありますが、演奏会は500席の勤福センターを使います。そんな現状で、1,500席のホールは全く無駄であると思います。

旧臼田地区にコスモホールがあり、合併前の佐久市には特にコンベンション施設は無いから、今回の合併を機に合併特例債を利用し、大きな会館を造ろうとしたもので、合併後の住民サービスは大きく低下している(それが役所サイドのメリット)。よって、旧佐久市からの課題のために市費を多額に投入することは、好ましくないと思う。

新幹線の駅もあり、東京の文化施設、長野の文化施設で芸術に触れるといった地域で良いのではないか。

選出された市議による市政についての報告があまりなく、どんな流れに佐久市が乗っているのかが分かりにくいと思う。仕方がないとは思うが、行政の立場の人は専門用語を省略したりして分かりにくい。高齢者は理解しにくいと思う。

今回の住民投票は大変有効であったと思う。

住民投票は無意味だと思う。市長、市議の必要性がなくなると思う。住民投票にかかった費用は、市長、 市議が市に返済すべき!!(職務怠慢)

国会、佐久議員の皆さま、あまり大きなことより、もっと身近なことなどに力を入れてください。

市の広報や配布資料、住民説明会・集会に参加してみて、とても参考になりました。合併特例債を活用するには「今」でしょうが・・・。旧佐久市の時代から文化会館を建設する運動をしてきたことを、集会に参加してみて知りました。しかし、旧臼田、浅科、望月には、最も近い会館があります。その地域の人達はそれで十分だと思っているし、今現在も大いに活用しているでしょう。あえて中心の場所まで行かなくても良いと思うでしょう。その周りの人たちの建設反対が多かったように思われます。

また、年配の人たちは文化・芸術と言ってもほど遠く、今現在の年金暮らしの足元が現実でしょう。建設したら、福祉に回ってこないと思うでしょう。反対の宣伝カーは見ましたが、賛成派は見られず・・・。 資料を見たり、集会に参加したりしないと意識が薄いでしょう。 だから、必要ないと思う人たちが多いでしょう。

37円の収入で92円もの支出をしている日本です。本来ならば、もうとつくに破たんしているはずです。これが個人の家だと考えると、どうなるのでしょうか。私は結婚以来32年にわたってずっと家計簿をつけ通し、我が家の収支をつかみ、適正な支出を心がけてきました。国債の発行に踏み切った時代から、身の丈で暮らすことを日本の国民、政府はないがしろにしてきた。そのツケが今、この格差社会、人を大切に、何より人間ができる他者への思いやりを忘れさせるという形で表れているのではないでしょうか。

これからの世代に過大な負担を強いることの無いよう、建設反対が決まりホッとしています。反対に投票した者として、住民投票が行われたことを高く評価しています。市議会は市とともに建設推進の立場であったので、今回の住民投票が行われなければ、文化会館は造られたということになります。議会の方々も民意とのずれを認識し、市民の代表としての議会になるよう努力してほしいと思います。

住民投票があって良かったです。年々人が減っていくのに、もっと教育、子供たちに目を向けてほしいです。

この事業は三浦市長当時から進められており、議会では議決され、また合併後の市区長会でも承認されており、建設するのが当たり前である。建設に向けての土地費用、設計費等々、多額の費用が使われており、本当に無駄でした。合併特例債を利用すべきであった。残念でした。

自由民主党でも民主党でも良いのですが、もう少ししっかり政治をやってほしいものです。無駄なお金は使わない。国も県も私の家も、今はそういう時だと思っています。

総合文化会館が出来たとして、何回くらい死ぬまでに訪ねるか?と考えた時、私の場合、1回か2回くらいと思い、建設に反対しました。

柳田市長の市民への問いかけの、今回の住民投票の判断は正解だと思う。

今回、総合文化会館の建設の是非について、我々市民の民意を第一に考えた住民投票は評価している。柳田市長の一つの姿勢が貫かれるよう、今後も期待したい。

今回の住民投票は大変よかった。国にも地方にもお金がないのだから、箱物はよく考えて行ったほうがよい。

◎柳田市長は、住民参加の行政の大きな一歩を踏み出したと思っています。ありがとうございました。

住民投票はいいことだと思いますが、反対が多いからそれが必ず正しいということにはならないと思うので、いろいろ考えていく必要があると思います。

住民投票に関わる費用も明らかにしてほしいと思いました。市長・議会には、興味のない年代にとっては全くムダな選挙だったことを認識してほしい。

問いは文化とは何かと考える論議から始めてほしいと願いを込めたい。

市内に文化会館(コスモホール)があり、もっと使っていただきたい。ホールの音響も最も優秀であり、何の不満もありません。

箱物でない文化振興を。お金のかかる箱物一辺倒だった文化振興に反対です。

このような調査票が投票直後に配達され、驚いています。これだけ関心が持たれていることに驚いています。今回、自分の意見が市政に通じたことに喜びを感じます。

- ①選挙となると大変なお金がかかると聞きます。でも、民主主義の世の中で多数決という力の多きさを実感しました。
- ②立派な文化会館(箱物)で人を呼ぶよりは、佐久の美しい自然(立地条件)を呼びものにするような発想をしてほしい。

総合文化会館の問題より、山間部の農業の実態をよく調査して真剣に取り組んでほしい。例えば鹿対策について。高齢化した農民の苦しみを。

私は、実家は旧臼田町ですが、家に入ったのが5年くらい前です。佐久市というのは他の市町村という思いがいまだに残っているため、佐久市民という実感がなかなか持てません。

総合文化会館の問題も、自分たちの問題であるという実感が持てなくて、また賛成派、反対派それぞれの意見を聞くと、両者にそれぞれ理解できる部分と納得できない部分があり、投票日までに自分の考えがまとまらなかったです。

自治体で一度決まった計画・議案について、より合理的で安い費用により住民が見直す機会、決定できる仕組みを考えてほしい。

総合文化会館の問題は、合併前は他人事のように受け止めており、さほど関心もなく、他町村が建てるなら、大きな文化会館はあればそれに越したことはないと思っていた。私は観劇も好き。音楽もチャンスがあれば聴きたい。近くなら、時間もかからず良いと考えていました。

しかし、合併してから佐久市の財政にも不安を覚えたり、また将来のことも心配になりました。自分の事業 (家計)に置き換えれば、新しい建物や家財は良いと思うが、補助金をもらって運営しても、しょせん税金を使ってすることである。自分の力でやるという意志も必要と考えます。国からの補助をもらっても、それはやはり借金だと思います。現在あるものを工夫して使うことも大切。

前市長、議会で文化会館建設ということが決定していたが、住民投票で否決されたことは誠に残念。住民投票だって、お金がかかるではないか。そうまでして決めなければならないのか、疑問だ。

今回の文化会館に関する住民投票は、市民参加の政治と考えられる。このように市民、国民の声を聞く政治が望ましい。

旧臼田町の合併にあたり、町長、町議員の判断のみで(合併が)行われ、いまだにギクシャクしている。 今回、柳田市長の公約通り、市民の気持ちを住民投票で確認してもらえて、これからの市民意識の中で わだかまりが残らないと思い、うれしいです。

フルオーケストラ、佐久市民ミュージカル、若い人にも楽しんでもらえるアーティスト、もっといろいろな芸能・文化、たくさんの夢が破れた。投票した人の年齢なんかも問題があるのではないでしょうか?

「※住民票は佐久市にあるが、現在神奈川県に住んでいる方のご意見」

今回の意識調査で初めて、この問題を知りました。コスモホールなどの会館は、個人的には昔よく利用していましたし、思い出もたくさんあるので、なくなってしまうとしたら、さみしい気持ちがあります。

会館などを使う・使わないは個人差もありますし、負担は税金なので、いろんな意見もあるだろうと思っています。市民の税金がかかる以上に、会館施設がもっと地域に根付いて、皆が利用していけるようにと願っています。

住民投票の時期が遅い。計画を立てる時点ですでに多くのお金を使ってしまっている。(設計図などで) 文化会館よりも、教育施設などの面でやるべきことはたくさんある。勤労者福祉センターやコスモホール などがなければ別だが、同じようなものを、今この時期に建設する必要はないと思う。

尖閣諸島問題、北方領土問題等、一流大学を卒業した政治家がなぜあの程度のことしかできないのか、 理解できない。国も地方も、政治屋は居ても国を想う政治家が不在。それを選んだ国民にも大きな責任 がある。

東京から移住してきましたが、まだまだ田舎です。他県(熊本、兵庫)へ行ってみますと、とても活気があり ます。長野市を見てください。また、この近くの小諸市を。各商店は閉店しています。もっと街の中を活気 で満たした後にでも、文化会館は造るべきです。

貧しい中で、何ができるでしょうか? もう少し頭の良い人が出てきて、人々が豊かに暮らせる方法を考えるべきです。反対者が多いということは、皆同じようなことを考えていると存じます。

総合文化会館はあれば良いと思うけど、オーケストラ、有名歌手のコンサートなどは高いので、年金生活者などはあまり行かれない。

浅科にも穂の香ホール、岩村田には勤労者福祉センターがあり、講演などは充分できる。どうしても見たり聞きたいときには、上田か、臼田のコスモホールへ行けば良い。夕張の二の舞にはなりたくない。

総合文化会館を建てるのもいいけど、福祉・医療関係をもっと重点的に考えてほしい。住民投票には行けなかったが、私は反対だった。総合文化会館は、今現在は必要ない。佐久市には廃校舎があるので、それを利用することを考えてほしい。

最近の日本は経済が思わしくない。合併特例債も借金のため、一部の人達の文化のためより、これからの人達のため、奨学金などに使ったほうがよいと思う。

|大金がかかる文化会館、その後の管理費等を考えると、もっと福祉、介護に関する施設が大切と思う。

住民投票により、市長が建設中止を決断してくれてよかった。他の自治体でも、いわゆる"箱物"行政の 失敗が話題となっているが、佐久市はその失敗をしなくて済むと思う。

建設費(その後の維持管理費)を老人関係や子育て関係(市内保育園、幼稚園の保育料や給食費に充てる)に使うなど、もっと市民生活に身近な所に使っていただけると幸いである。

投票率がもう少し高ければ良かったが、投票した人は、少しでも市政に参加できた気持ちだろうと思う。 投票率50%以上としていましたが、そのことについては、もっと関心を住民は持つべきであると思う。問題 が飛んでしまうが、選挙のたびに低い投票率に疑問を感じる。なぜ投票に行かないのかと問いたい。選 挙権を重く自覚してほしい。私たちが支払っている税金の使い方を決める人を選んでいるのだということを 認識しているのか問いたい。投票率が30数%等と報道されているが、本当に大丈夫?と強く思う。選挙 の意味について、もっと教育が必要ではないでしょうか?

最後に来て反対派の意見ばかりが目立ってしまって、建設した場合の良いところなどが薄くなってしまったように感じ、残念でした。税金が上がるなどのマイナスイメージが強くなっていった気がします。

今回は総合文化会館をめぐる問題についてでしたが、市町村合併で発生している問題、特に住民が強く 感じている問題についても、目を向けていただけたらと感じました。

高齢化社会になっているので、福祉や病院を建てるほうに力を入れていただきたい。高齢者が病院や診療所で待たされる時間が1時間以上になると疲れてしまう。高齢になると医者にかかることが多くなるので、老人ホーム、病院を早く建てていただきたい。

総合文化会館は、他の会館(コスモホール等)が黒字になるか、またはそれに近い運営になってからの話であると思っています。

3200万円もかけて住民投票をするのが良いか悪いか? 市長のリーダーシップに期待したい。

若い世代には住民投票の制度は必要だと思うが、年齢が高い世代には、遺恨が残る手法だと思う。

今回の住民投票の結果は、現市長が当選した時点で予測できたことであると思う。このような時期に、無 駄な時間やお金をかけるべきでなかった。市長自らが決断すべき問題だったのではないかと思う。

介護タクシーを利用して病院へ行き、車いすの生活です。投票に行きたいとは思いますが、タクシーを頼んでまで行こうとは思いません。歩けるようになったら行きます。

人の、市民の顔色ばかり見ている。県知事、市長も・・・。総理大臣もリーダーシップ・カリスマ性を感じない。ともかく、穏やかに生活できる力強いリーダーが欲しい。

今回は住民投票など行わなくても、市長は最初から反対の立場だったのだから、市長が何がなんでもきちんと理由をつけて、反対の意見を主張すべきことではなかったかと、今回は投票に行きませんでした。 責任逃れの住民投票だと思いました。

景気が思わしくなく、文化センターに出向く気持ちになれず、好きな人は遠出してでも見に行けばいいと考えた。文化センターができても、相乗効果はそんなに変わらないと思う。

|問題点があるならば、積極的に言ってほしい。佐久市民としてもっと声を上げるべきだ。

中学生の吹奏楽のコンクールを聴く機会がありました。生徒たちは自分の演奏が終わると通路に座ったり、端に立って他校の演奏を聴いていました。参加した生徒や保護者が座ってゆっくり聴けないのです。この子供たちが、またここで演奏したい、このホールでいろいろな音楽や文化に触れたいと思ってくれることも、文化を育てる一つと言えるのでは。お金はかかって当たり前。今回の結果は本当に残念でした。

現在、佐久市にはコスモホール等がある。有効に利用し、使用不可能に近づいた時点で考えればよいと思います。また、用地については公園等にして、文化会館が必要なときに使用すれば良いと思います。

1500席のホールを建設しても利用者が少なければ、管理運営費が赤字になるのではありませんか? 文化会館を造り、そこを中心とした文化振興を進めるほうが良いと思う。駅から近くて人が集まりやすい場 所に今造らなければ、もう二度と造れなくなると思う。費用の面ばかりが強調されていたが、文化の振興 にはお金では買えないものがあると思う。

総合文化会館の必要性はどこにあるか。旧町村には文化施設があり、みんながそれぞれで活用しておった。文化会館が出来ると、旧町村の施設はどうなるか。財政上もかなりの負担が多くなるとともに、維持費が年間2億円以上とのこと。

今回の住民投票で、議会のあり方を考えさせられた。住民の代表で出ているのに、反映されていない。 大きなことをやるたびに、この先住民投票を導入することとなると、少し問題が残ると思った。

住民投票によって民意を問うてばかりでは議員の役割が不明になるが、今回は必要であった。

今回の住民投票は、佐久地域の状況よりも日本国の経済状況が反映されたように思えます(将来を不安に思っている住民が多い)。元々、佐久地域は文化レベルの低い所なので、文化会館(文化)が価値の無いもの、また将来役に立たないものと考えたのではないでしょうか。箱物の賛否について住民投票をすると、必ずどのようなものでも否定派が勝つと思いますので、市長の公約でもあったので仕方ないことなのかもしれませんが、住民投票は行うべきではなかったと思います。

この程度の調査に国費を使っていることの無駄を一番感じている。

賛成の人達は運動はこれで終わらないと言っているが、コスモホールなどがあるので、そこを皆で使えばいいと思う。音楽活動もコスモホールで行ったことがあるが、大変よく出来ていていいと思った。そのほかに、これからの子供たちの遊び場所を考えて建設してほしいと願っています。老人ホームも、同じ考えです。私たちはそう思います。

市長が代わることにより、今回の件などとても考えさせられて、住民が中心となり参加できたように思う。 選挙には行くべきだと考えますが、今回はどちらにしてよいのか悩み、わからず、最終的に他の方にゆだねる形になりました。関心を持って行政の動きを見ていなかった私もよくないのですが、知らないうちに事が運んでおり、正直なところ、「今ごろ聞かれても・・・」という気持ちでした。(どちらにしても、負担があるので・・・)

建設業者のために造るような気がする。

こういった調査に協力したことはあまりないので、結構自分の思いを伝えるのは難しいものだと思いました。質問者の側の方も難しいと思います。

佐久市は、意外なほど大きな地方都市になってしまいました。上に立つ者は大変だと思います。総合文化会館も小さなものはもうたくさんあり、中央に大きなものを建設しても、佐久市の外れのほうに暮らしている人たちにとっては、それをどれだけ利用し、恩恵を受けることができるのか疑問です。小諸市のように新幹線を通さなかったほうが、将来は心豊かに生活できるのではないかなと考えたりする昨今です。

今回の住民投票には、大いに賛成でした。市民一人一人の意が届いた感じがします。これからまた、このような難題にあった時、このような形を取ってほしいです。

市長選挙には行きませんでしたが、柳田市長さんには、このたびは感動しました。頑張ってほしいと思います。

- ・交通機関が不便で、会館が出来ても行くことが不可能である。
- ・中心部のみ発展している。
- ・市内バスも、山間部には来ない。
- ・イベント(農協祭など)も中心部で合同でやるようになった。

以前に総合文化会館を造ることになっていたのに、再度住民投票にて決めることは変だと思います。住民投票数日前に市議員(賛成)の方から、今回の件、住民があまり関心が無いようなので、過半数に届かないかも、今までに使った費用が無駄になってしまうので投票に行くようにと。それなら、費用のかからないように進めることが出来たのではないかと思います。

今回の住民投票の予算等についても、やる前から分かっていた話で、こんなことに人やお金を使うなら、 市議が住民の意見を聞いて回り、その意見を議会に反映させるべきで、簡単に手抜きをしようとする議 員・・・と言われても仕方ないのでは?? 意見を上にあげるための議員ではないのですか? 今回の一 連のポスター、ちらし、選挙の段取り、および費用。もっと違った使い道があるのではないでしょうか? だから、投票には行きませんでした。無駄を排除しようとしている現状で、今回の件は、無駄の代表であ ると思いました。

国も地方も、国民や住民との意思の疎通がなく、特定団体の意見で動いているだけのようだ。もう少し皆の思いを汲んでほしいものだ。そうすれば、今回のような投票をしなくてよいと思う。

投票率が思っていたよりも低く、その結果によって決定してしまったことは残念に思います。投票率70%以上、有権者全体の過半数の結果によって決定してほしかったと思いました。住民投票を行ったことは良かったと思いますが、それによって多額の税金が使われてしまったことは残念です。

建設が中止になったため、その土地をどう利用していくかについても、もっと多くの意見が聞きたかったです。今後の大きな課題です。

公共のホールがいくつもあるのに、大きな工事をして造ることはない! 投票率がもっと高くても良かった と思う。もっと市民が関心をもってくれたらと思う。

税金が高い北海道夕張市のような住民になりたくない!! 年金生活のため大変です!! 税金は最 低限に抑える市にしてほしい!!

- 1. 住民投票(建設の可否)はムダ。
- 2. 首長としての責任の放棄である。
- 3. 地方は基本的インフラの整備が遅れている。次世代のため、ある程度の施設は必要。
- 4. 合併特例債を、首長は全く理解していない。

投票率54%、どうなんでしょう。子供たちへの借金を少しでも減らすために、70%以上の市民の声が上がって当然ではないでしょうか。夕張のようにはなりたくないものです。

最近、住民投票があちこちで話題になっていますが、行政、議会の独自性を考えると、あまり喜ばしいこと ではないように思える。

自治体、議会がもつと住民の意思を尊重する行政を期待する。

結果が建設中止となりました。その前に投票率が50%行くか気がかりでしたが、市民の関心が高かったのでしょう。投票率はクリアしてホッとして!! つづいて、反対70%とはまたびっくり。市民の判断は着実だったと思います。

予定していた土地の問題も、議会側と充分に話し合って、正しい(有効的な)利用方法を楽しみにしています。利用するのは今考えている私共の時代でなく、若い市民です。「これで良かった」と感謝してもらえるような、そんな将来を見据えて企画してもらいたいものです。子供・孫たちが佐久市を離れないように。しかし、孫たちにはグローバルな活躍をしてもらいたい。でも、佐久市を自慢できるように私達も努力しなければ・・・大切な時期です。

今回の住民投票については、柳田市長の責任逃れのための投票のように感じた。そのため、投票に必要な経費は税金のムダ遣いでしかなく、もったいないとしか思えない。この問題は、市長が当選するときに反対をうたっていたこと。それを蒸し返してムダな投票をするのは変です。

文化会館建設には賛成であるが、旧臼田と浅科に会館があり、投票の結果には満足しています。

市民は合併時には、この問題について半分の方の賛成があったと思います。日々が過ぎると、だんだんと地域の環境が悪くなる状況になりました。臼田町は、佐久市南部を形成する基本の町でした。これからが心配です。

市民のための行政サービスをしてほしい。

住民投票に際し、"議会軽視"との反発があったが、とてもこっけいである。市民の直接投票が本当の民意と考える。確かに乱発するのは良くないが、直接投票で選出された市長と議会が対立した場合は、重要案件については実施するのはありだと思う。

今回は、箱物行政に一石を投じた意味で、地方分権を進めるため、全国的にも良かったと思う。

日本中の地方が、合併特例債の使い方について、佐久市の手法を参考にしてほしい。

文化に触れる生活は希望ではありますが、あまりにも現在の不安な生活を考えると、それ以前に何か行動しなければならないことがあるはずです。

反対者一人一人の文化に対する意識の低さと決めつける前に、賛成できなかったその基を掘り下げて追究していただきたい。その結果、新たな動きが始まるかもしれないと思います。文化会館建設は、これで終わってしまったのではないのではないでしょうか。住民投票は民意がよく分かり良かったと思います。 もっと土地価格が安い地域に造るべきだと思う。

国が行う政策は一時的な策ばかりで、長期的な展望が見えない。身近である市政、県政も同じ。政治を 志す人の意識・モラルの低さが問題。今回、反対が7割に達したことに対し、建設を推進した議員全員に 理由を聞きたい。

今回の総合文化会館建設の問題、そして過去の市町村合併問題にしろ、いつも住民の手の届かないところで事がどんどん先行している。相変わらずの住民不在のようでうんざりしている。今回のベストともいえる住民投票の結果を見ると、市議会での可決とは相反する結果で、議員報酬をもらい政務を行っている議員の皆様は、何を感じ何を反省しただろうか。

今回の住民投票の結果を踏まえ、柳田市長の建設中止の決断は、まさしく民意を反映したもので大いに 評価したい。これからも柳田市長を支持し、応援してまいりたい。

大きな道路が工事されている。高速も南佐久の人には生活に必要かもしれないが、大きすぎる道は、今 後本当に必要なのか?

住民投票は、国の選挙と一緒にやるとかできなかったのだろうか。

行政だけで色々な問題を決めてしまうよりは、場合によっては住民投票という形をとって市民に問うことも必要だと思います。ただ、手間と費用がかかるということは、慎重に判断する必要がある。

総合文化会館等の文化施設については、細かな部分まで将来の維持管理の問題まで示されていたが、 他のホールとほぼ変わらない座席数であれば、今あるホールの活用を最優先に考えていただき、大きな ホール等で町おこし的に考えてほしい。

信毎に賛成・反対それぞれの立場から特集記事が載ったことは良かったと思うが、賛成でも反対でも同じ ぐらいお金がかかる、といった見方はマスコミとして浅はかだったと思う。維持費や特例債を他で利用した 場合など、議論の深まる機会にしてほしいと思った。

一人一人が自分の生きていく社会を作っていくという意識を、子供の時から教育する体制が必要と思う。 国も地方も財政難の折に、建物は無理だと思います。道路が整備されていないのに、交通渋滞も心配で す。佐久平駅からの新幹線に遅れてしまうこと、交通事故も起きやすくなることが心配です。現在でも、時 として渋滞が起きております。

- ハコモノを造るより、良いピアノを買うべきだ。
- 観客を育てるべきだ。
- ・軽井沢大賀ホールの駐車場を広げるべきだ。

住民の意見も大切だとは思いますが、税金を使って住民投票をやることを疑問に思います。もう少し市長のリーダーシップが欲しいです。

佐久市議会(議員)への不信が大きい。今回の投票結果について、賛成派の議員の動向を注目したい。 住民投票の結果を踏まえ、根本的なところで今後は検討すべきである。

高い授業料を支払った感がある。

これからは箱物ではなく、環境問題に税金を使うべきだと思います。施設の維持費に使うお金があったら、その分のお金を不法投棄されているゴミの回収に用い、清潔感のある美しい佐久市を目指すべきです。

住民投票は良かったと思います。会館にかかる費用を少子化問題、老人福祉など、今やらなければならないことに活用してほしいと思います。

今回、議会のみで決めてしまっても良かったような問題を、住民投票でもう一度決め直したことはとても良かったと思います。

今回問題となった総合文化会館建設の問題が持ち上がったのは、前市長による施政下でのことです。前市長は非常に個性的な性格で、支持者の間では絶大な信頼を得るも、一方では強固な反市長派を生み出してきました。

今回の投票が、純粋に総合文化会館建設に対する賛否ではなく、前市長に対する個人的な感情が投票 結果(行動?)を左右したのではないか。少なくとも私自身は、どちらなのか自信がありません。

公共のホールで演劇活動等に参加はしませんでしたが、花展とかお茶会とかには参加しています。演劇等で利用するのでなく、他の活動にも利用できるものを造ってもらえると良いと思っています。

今回の投票で、地方議員と有権者の違いがよく分かった。地方議員(国会議員も)はもっと社会情勢、住民の考えを知る努力をして、勉強してほしい。結局、議員の今までの行動は何だったのか。実力の無い方の集合組織かもしれないと大いに感じた。

- ・ 今回の住民投票は、市長がずるいと思う。
- 大金をかけて住民投票はやるべきではない。

地方行政の住民投票は、投票率が非常に大事だと思う。今回、50%以上の投票率が成立要件として適用されたが、その点についてはどうなのか? 少し疑問に思った。

市長はじめ良識ある市民はほっとしていることと思います。ただ、今回のような件で住民投票ということにはいろんな意見もあろうかと思いますが、とりあえずはめでたしめでたしで今年も暮れるでしょう。

もう少し座席数が多くなれば、有名なアーティストのコンサート等が行え(今は長野、松本、県外でしか見ることができないが)、佐久平駅が近いこともあり、他市町村もしくは県外からも来られる方がいるのではないかという話を、家族、職場の方々としたことがあります。

独身の時はいろいろと見にも出掛けましたが、結婚してからはなかなかコンサート等、遠くまで行くことはできないので、近くに公共のホールができたらコンサート、ミュージカル等へも行ってみたいなと思っています。建築費、管理費等のことを考えると、どちらに投票したらよいのか判断に困ってしまいました。

今回の住民投票については、議会で決定していたことであり、すべて無駄とは思わないが、トップの判断でも良いと思われた。

全国的にも珍しい文化センターの住民投票に立ち会い、反対票を投じましたが、今になってみれば、孫たちにあのくらいのものを造って残してあげても良かったのかな・・・? 反対して造らないその分、福祉に充てられたり、もっと他の必要とされている方に行き渡れば。市全体で住みよい生活が送れると喜ばしいことです。 賛成、反対どちらにしても大変でした。

建設費用などは、福祉の面に活用してもらいたい。

民の票を得て大なり小なりの職に就いたなら、その仕事に専念してほしい。また、権力を振りかざすのは 言語道断。

現状でも各地区の公会場の次のレベルで、近隣地区の住民とひざを突き合わせて交流できる小さな施設が、仕分けにより切り捨てられようとしています。

小さなことも大事にしながら、大きな施設は長野県、または東信地区としての、もっと上のレベルで考えても良いのではと思います。

総合文化会館に限らず、今日のような経済が大変な時に先の見通しの甘い計画を立てる、私達が選んだ議員の方々の見識を疑います。

市民の代表である市会議員は、市民の意見を聞いていないのではないですか。

住民投票をやったことは、とても良かったと思います。私は総合文化会館が出来ればいいなと思っていた 反面、余分なお金を使うことになるのでは、という気持ちもありました。建物を建てて、佐久市が今以上に 元気な市になることも少し期待をしましたが、実際どうなのか分かりません。

これからは高齢化が進み、人口減少になり、大きいホール等は不要と思う。福祉関係に税金を回したほうが良いと思う。

今回の住民投票の結果は、大変残念でした。文化の発展は地域の発展となり、未来の子供たちのことを考えると、まだまだ10年20年と遅れてしまうなと思います。島国根性なのでしょうか!! 目先のことにこだわらず、大きな立場に立って市の発展、国の発展にとなれば良いと思います。

総合文化会館は造らないことになりましたが、約31億円はどうやって国に返していくのか心配です。 私たちの知らない、知らされていないことがたくさんありました。住民投票により、明らかになったことは大変良かったと思います。

文化会館については、今あるコスモホール等で良いと考えています。そこで観たいものを観て利用させていただく。自分で観たいものがコスモホール等で観れないのなら、出かける。今の佐久市には、もっと必要なお金の使い方があると思う。もし造っても、維持費のほうが大変になることが大変だと考えます。箱物よりも、年寄りに優しい地域づくりをもっと手厚くしていかないといけないと思います。

旧臼田町は、もっと福祉に力を入れていました。佐久病院も移転の方向になっています。残念です。 総合文化会館と主旨は違いますが、今は老齢化になり、私共の地区にも最低年金者が多数います。箱 物はいりません。国と県が直結して、最低年金者が入所できる老人センターを大いに建設していただきた いと思います。

今回の住民投票での総合文化会館をめぐる問題は、もう少し時間をかけて、市民の皆が納得できるようなものにしてほしかったと思います。

市民説明会などに出席できない人がいることなど、市民が本当に分かってできるように、説明会なども根気よくやってもらえれば、聞く機会もできたのではと感じています。

国の借金が862兆円にもなっている状態で、税金の使い道を真剣に議論していく必要がある。今までのように政治家や役人だけに任せるのではなく、積極的に関与していかなければならないと考えている。その意味から言って、今回の住民投票は有意義だったと思う。

今ある建物でも、文化会館の役割を果たすことができると思っています。

投票率が低すぎる。

名ばかりの議員が多すぎ。もっと住民の意見や希望や意志を集めるべき。

今の政党は話し合いができず、反対、揚げ足取りばかり。論議をしているところを見たことがない。だから 誰も同じだ。だから選挙に行く気になれない。

当市の住民の考え方、行動の仕方について、今回初めて理解できました。投票後に聞こえてきた言葉はただただ維持費のことだけで、いかに有効に利用していくかという、建設的な将来への展望が見えてこない佐久の人達です。残念でした。

総合文化会館をめぐる問題については、佐久市内にもいろいろな施設があり、これらをフル利用したら良いと思います。多額の建設費をかけて造ったものですので。

素晴らしい多目的な会館と思いますが、高齢化社会で、その会場までの道のりも大変ではないでしょうか。未来のためには、必要かとは思います。

- 1.10万都市には、1,400~1,500人規模の総合文化会館は必要です。
- 2. 佐久市の文化のレベルアップをしたかった。
- 3. 文化格差が一層大きくなる。(例:小中高生の行事である芸術鑑賞で、規模の大きな演劇、オペラ、 オーケストラ、バレーなどは上田、長野、松本、小諸等に行く。さらに交通費等の負担も多い。良いものに 接する機会がなくなる。)
- 4. 20年以上を費やし熟慮した建設計画が無駄になり、市民として慙愧に堪えない。
- 5. 総合文化会館は、合併の条件でもあった。合併特例債によって建設することを今でも願っている。佐 久市は一世紀遅れてしまう。
- 6. こんなことで住民投票とは、最悪の市政である。税金の無駄遣い。返済金もできてしまった。
- 7. 投票用紙にも問題あり。一般的に選択肢は賛成を前にするのが普通であるが、この用紙は反対が前にあった。反対ありきの用紙であった。
- 8. 以前の議会では建設を可決したのに残念である。反対は1人の議員だけであった。代表民主政治の崩壊。一事不再議のようなものである。市長も市議会も不要。市職員と区長で市政は十分である。
- 9. 建設支持者の多くは投票しなかったという。真の民意ではない。

私は平成21年に、長野市(官舎)から転勤に伴い住所を佐久市(自宅)に異動しました。同時に木曽郡に 単身赴任となり、自宅にはほぼ毎週金曜日に帰り、日曜日に戻るといった生活です。今回の住民投票に ついては自宅に帰った時に知りましたが、何のための投票か全くわかりませんでしたので、投票には行っ ておりません。

このようなケースもあることを、ご理解いただければと思います。

今回の住民投票は、異例のトップダウンでした。市長は中立と言いながら、各地の小さな集会では、これができた場合の経費は皆さんに負担してもらうとか、老人会では、老人福祉にお金を使ってもらうことを希望する人は反対に、と言いふらしていました。ある程度分かっているような集会等ではダンマリを決め、誠に首長に相応しくない言動でした。

次回は、100%市長サイドの候補者にも投票はしません。あきれ果てています。

住民投票は、進学により長野県を離れているため行っていませんが、建設には反対の立場でした。 佐久市内には、すでに複数のホールが存在しており、その有効的な活用法についてまず考えるべきであ るかと思います。そのうえで、新しいホールが必要であるとするならば、その理由を十分に説明するべき なのですが、それらが十分に行われていたようには思いませんでした。今後、中心地域だけでなく、市全 体の活性化につながる都市計画の議論がなされることを望みます。

住民投票を実施して大変良かったと思います。今後も、本当に大事な問題が生じたときは、地方行政では自分たちが身近で選んだ議員とは言いながらも、議会だけに任せるのではなく、有効に住民投票を活用することが望ましいと思います。また、投票を容易に実施できるよう、制度化も必要かと思います。

二十年以上の多くの人々の熱い願いであったものを、市長の決断のないことで無にしてしまった。この地に住んでいて、文化・娯楽など若者向けのサービスの少なすぎることを痛感している。若者のますますの流出を今後も止められないだろうと思う。また、佐久市および佐久地方が、不況から一歩でも脱出できる機会が遠のいてしまった。

住民は今後、上田市、長野市、また首都圏に、日々の生活の癒しや娯楽を求めて出ていく。市長の言う 交流人口の増加など、全くありえない。市の広報等も、全く、マイナスイメージばかりをPRするものであり、 公平なものではなかった。住民投票自体が茶番劇であり、無駄遣いであった。管理運営に自信がなけれ ば、最初から中止を主張すべきであった。

総合文化会館を造ることは良いことと思いますが、今現在、国や地方はお金がないので反対です。 支持政党はないです。今回はこの党にと思い選挙に行きますが、本当に国のことを思ってやってくれる人

がいないようです。これからの日本がどうなるのか心配です。

文化会館を造ることについて、何もなく、住民投票のポスターがいきなり貼り出されたと思う。

この先、佐久市は人口15万を目指し、大きく希望を持って、東信にはない1,500人集客できる文化会館ぐらい持つことを望む。

今回の住民投票については、議会で決定されていた建設をどうしたら止めることができるのか、と考えて 実施されたように思う。市長の予想通りだったのではないか? 市民は反対が圧倒的で(賛成の人に1人 しか会わなかった)、議員一人一人が身近な人に聞いて回れば、3400万円かけなくても良かったのでは ないかなと。つまり、合併後いろいろ変わってきていることを、市議員さんたちも考えてほしいと。

住民の代表である市議会の考えと住民の意見が全く正反対だったことに関して、市議会に対する大変な不満がある。住民投票をするには大変な費用もかかるわけで、毎回毎回住民投票をすることもできず、住民の代表である市議会による客観的意見の吸い上げを求める。

今まで文化会館建設に向けかかった費用は、いったいどうなるんでしょうか。無駄になったと思います。 結果として反対になってしまいましたが、今後、空地の利用、補助金の返還等を考えると、これで財政は どうなるのか、市民の負担がこれ以上肩に重くならないか不安です。

埼玉県から越して4年半になります。空気、水、星空が素晴らしく、大切な土地です。佐久に親戚がいたわけではなく引っ越してきましたが、佐久の方々に可愛がっていただいています。

私は仕事柄、多くの公立ホールで演奏しますし、「こけらおとし」でも呼んでいただいたりしてきました。(関東地区の)それら多くが運営に苦しみ、2~3年でホール常駐の技術者(音響・照明等)を置かなくなったり、役所から芸術などに興味のない公務員が「決まり事」だけで対応している有様だと、行く先々で感じます。「形」のないものへの関心を育む教育からやり直さねば、日本の「芸術・文化」は中身のないものになると思います。ハードではなくソフトを大切に、既存のものを活かすことに金や力を使っていってほしいと考えています。

住民投票、総合文化会館をめぐる問題以外で意見をさせてください。

現在の社会状況や国の財政問題を見ていますと、かなり苦しい状態にあると思います。現在、国・地方で行っています事業仕分けも大事と思いますが、それ以前に、衆・参議員はじめ地方議員を含め、月々の歳費の削減を第一に実行することが先決と思います。